

漢法苞徳塾資料	No. 209
区分	医古文
タイトル	難經全難要点一覧
著者	八木素萌
作成日	1983.10

難	要点
1	寸口者五臟六腑之所終始故法取于寸口也
2	寸・尺 陰陽
3	尺寸の大過不及・陰乘陽乘・覆溢「是其真臟之脈 人不病而死也」
4	脈の陰陽・呼=陽・吸=陰、浮=陽・沈=陰 浮沈長短滑濇「各以其經所在名病逆順也」
5	菽法
6	脈の陰陽虚実
7	旺氣の脈
8	腎間之動氣「此五臟六腑之本十二經脈之根・呼吸之門・三焦之原・一名守邪之神・故氣者人之根本也」…「寸口脈平而死者生氣独絶于内也」
9	数遅一熱寒・腑臟、…陽=熱、陰=寒…
1 0	一脈十変（心脈を例に）
1 1	五十動一止…腎氣先尽也…
1 2	医の実々虚々…医殺之耳
1 3	…色脈尺皮…上中下工…脈色の相生相剋で予後を観る…尺膚診・五臟基本脈状
1 4	脈の損至と治則…「上部有脈下部無脈…」、尺を木の根に譬…「脈有根本人有元氣…」
1 5	四時脈・その大過不及、脈における死、胃之氣、脾は中洲・平和不可得見・衰乃見耳…
1 6	五臟の内・外・病の三証と脈の関係
1 7	激症状における脈・症の応と不応
1 8	「脈有三部・部有四經」として經の配当、上中下の三部への身体の部位配当と三部九候の意味合い、結伏の脈と積聚痼疾の判定とそれらの予後判断
1 9	男女の脈・病の内外と部位判断と男女脈
2 0	脈の伏匿・狂と癲と鬼と盲
2 1	脈病・脈不病の生死
2 2	是動と所生…氣と血
2 3	14 經と絡脈一脈長の合計と經と絡の循路「朝于寸口人迎以処百病…」と脈の終始
2 4	三陰三陽の經の主生理と絶死の状
2 5	五臟六腑=11・經=12 の説明「手少陰与心主別脈也 心主与三焦爲表裏」

26	15 絡、陰絡陽絡＝陰陽の蹻、脾の大絡、15 絡
27	八脈不拘十二經、八脈の名、經 12 絡 15 の 27 氣相随上下、不拘 12 經の次第＝奇經論の基本
28	奇經脈の循行部位、「溝渠滿溢 流于深湖故聖人不能拘通也」「受邪氣畜則腫熱砭射之」
29	奇經八脈の病症
30	榮衛と相随、胃は水穀の海
31	三焦の部位、上一主納・中一腐熟・下一主出、三焦の治療点
32	肺心の膈上の由・血＝榮・氣＝衛
33	肝木・肺金の浮沈と剛柔
34	五臓の声色臭味液と七神
35	六腑の所属臓と生理「下焦之所治也」
36	腎と命門
37	九竅不調＝臓不和、癰＝六腑不和、病＝脈盛、經脈の根本義
38	臓五腑六「三焦也 有原氣之別焉主持諸氣・有名而無形 其經属手少陽・此外腑也」
39	腑五臓六左腎右命門「三焦又是一腑 然不屬於五臓」
40	耳聞鼻臭の生理の五行的機構の基本
41	肝両葉「去太陰尚近・離太陽不遠」
42	五臓六腑と口・唇・齒・会厭・舌・咽門・喉・肛門の解剖、臓の五志・「脾裏血…」
43	「不食飲七日而死」
44	七衝門
45	八会穴
46	老・少の昼夜の寐寤
47	人面独能耐寒…人頭者諸陽之会
48	三虚三実
49	正経自病と五邪所傷（病因診断論）
50	五邪
51	臓腑・陰陽・感熱の診別
52	臓病止不移・腑病居所無常
53	七伝死・間臓生
54	臓病難治・腑病易治
55	聚と積の定義と鑑別
56	積病の鑑別、その予後と生死
57	五泄
58	広義傷寒と治則、寒熱（皮肌骨）の審別
59	狂と癲
60	心と頭の厥痛と真痛
61	望・聞・問・切一神・聖・工・巧

6 2	臓俞 5・腑俞 6 …原穴…「亦与三焦共一氣也」
6 3	井穴論
6 4	陰陽 5 俞の 5 行属性と、その間の剛柔的關係
6 5	井出合入一井春・合冬陽氣入臓一論
6 6	臍下腎間動氣者人ノ生命 12 經ノ根本…三焦原氣ノ別使主通行三氣…原者三焦ノ尊号…原穴論
6 7	陰病行陽・陽病行陰、募・俞穴論
6 8	五俞穴ノ出・流・注・行・入ト穴ノ主治
6 9	子母ノ補瀉
7 0	四時ノ刺ノ深淺
7 1	衛ト榮ノ基本刺法
7 2	迎隨補瀉…「調氣之法必在陰陽」
7 3	刺井瀉榮
7 4	春刺井…冬刺合…「四時有数而并繫于春夏秋冬…」
7 5	瀉火補水
7 6	補瀉原則…「当補之時從衛取氣・当瀉之時從榮置氣…」 「先補後瀉」
7 7	上工治未病トハ…肝病補脾
7 8	補と瀉…「必ラズシモ呼吸ノ出内ニアラザルナリ…」
7 9	迎隨補瀉「迎…子瀉」「隨…補母」、補せば實し、瀉せば虚す
8 0	刺・抜の根本 = 「…謂左手見氣来至乃内鍼・鍼入見氣尽乃出鍼…」
8 1	補瀉の決定原理 = 「…非謂寸口脈也・謂病自有虚実也…当知金平木…此者中工之所害…」

★難經の種々の論点を考察する時のよすがに★

作：八木素萌

## ◆脈の在る所に病がある。

14 難(下段)・15 難・18 難(下段)・19 難・37 難・49 難

## ◆脈と症の関係と補瀉決定

16 難・49 難・58 難・74 難・81 難

## ◆穴性論

26 難・31 難・45 難・62 難・63 難・64 難・65 難・66 難・67 難・68 難・70 難・74 難

## ◆取穴・手技の論

66 難・68 難・69 難・70 難・71 難・72 難・73 難・74 難・75 難・76 難・77 難・78 難・79 難・80 難・81 難

## ◆三焦論

直接言及する難……8 難・25 難・31 難・35 難・36 難・38 難・39 難・62 難・66 難

関連する難 ……1 難・3 難・4 難・10 難・11 難・13 難・14 難・15 難・16 難・17 難・18 難・  
22 難・23 難・24 難・27 難・30 難・32 難・34 難・37 難・42 難・43 難・  
46 難・72 難

(日本経絡学会誌V o 1. 1 3 八木論文)

## ◆脈論

直接言及する難……1 難・2 難・3 難・4 難・5 難・6 難・7 難・8 難・9 難・10 難・11 難・13 難・  
14 難・15 難・16 難・17 難・18 難・19 難・20 難・23 難・37 難・49 難・  
58 難・59 難・81 難関連する難 ……24 難・32 難・34 難・40 難・49 難・50 難・54 難・58 難・61 難・68 難・  
70 難・71 難・72 難・74 難・78 難・81 難

(日本経絡学会誌V o 1. 1 2 八木論文)

## ◆診断論

直接言及する難……1 難・2 難・3 難・4 難・5 難・6 難・7 難・9 難・10 難・11 難

関連する難 ……8 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難

## ◆経脈論

直接言及する難…… 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難

関連する難 …… 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難

◆奇経論

直接言及する難…… 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難

関連する難 …… 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難

◆病症論

直接言及する難……3 難

関連する難 ……

◆治療論

直接言及する難…… 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難

関連する難 …… 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難

◆病症と脈状

直接言及する難…… 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難

関連する難 …… 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難・ 難